

## 呼吸機能検査をお受けになる患者さんへ

この検査は、主に呼吸器系疾患の診断のために行います。

そのほか、手術前などの全身状態をチェックする目的で行う場合があります。

検査の時には、息を止めたり、勢いよく吐いたり患者さんの協力が必要です。

検査の種類	検査時間	検査の内容
呼吸検査 (精密検査を含む)	約 10 分 (精密検査) 約 1 時間	肺活量や息の吐く能力など肺の機能を調べます。 (精密検査は、残気量、肺拡散能力など肺の機能を 詳細に調べる検査です。)
気道過敏症試験 (アストグラフ)	約 40～60 分	気管支喘息の診断と重症度を調べる検査です。 霧状にした薬を吸入してもらい、検査の時に呼吸の変化があるか どうかを調べていきます。